

2018年9月16日

課題名：言語発達障害児の対人コミュニケーション行動と構音の関連

-対人コミュニケーション行動観察フォーマット（FOSCOM）からの検討-

◆研究の目的と概要◆

当院では、言語発達障害児について対人コミュニケーション行動と構音の関連を調べることで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年4月から、2018年8月までの間に、当院の小児科およびリハビリテーション科から言語聴覚療法を新規に処方された18歳未満の方

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、各種検査（発達検査、知能検査、言語発達検査）の結果、対人コミュニケーション行動、構音に関する治療経過

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
リハビリテーション部 研究責任者 松尾 基史
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明